

令和 7 年度

「教育に関する事務の管理及び執行状況」 の点検及び評価報告書

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

第 2 6 条の規定に基づき議会に提出

飯 豊 町 教 育 委 員 会

目 次

第 1 部 教育委員会の活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

第 2 部 教育委員会の事務の点検・評価・・・・・・・・・・・・・・ 5

1 教 育 委 員 会 の 活 動 状 況

第1部 飯豊町教育委員会の活動状況

1 教育委員会の開催

- (1) 飯豊町教育委員会会議規則（昭和44年7月17日教委規則第2号）により、教育長が必要と認めた場合において開催することとしている。
 - (2) 教育委員会会議については、原則公開としているが、令和7年度において傍聴者はなかった。
 - (3) 教育委員会会議の開催予定及び会議の概要について、町ホームページでの周知・公開を今後検討する。
- なお、令和7年度の開催状況は以下のとおりである。

令和7年第4回教育委員会(R7.5.16)

議事

- (1) 飯豊町民野球場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について
- (2) 飯豊町民野球場の設置及び管理に関する条例の施行規則の一部を改正する規則について
- (3) 飯豊町立学校運営協議会委員の任命について
- (4) 飯豊町いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について
- (5) 飯豊町教育支援委員の委嘱について
- (6) 飯豊町学校給食共同調理場運営委員の委嘱について
- (7) 飯豊町子ども読書活動推進協議会委員の委嘱について

令和7年第5回教育委員会(R7.8.21)

議事

- (1) 令和8年度使用小学校用教科用図書及び中学校用教科用

図書の採択について

- (2) 令和6年度「教育に関する事務の管理及び執行状況」の点検及び評価報告書について

令和7年第6回教育委員会(R7.10.22)

議事

- (1) 議席の指定について
- (2) 飯豊町放課後学童クラブ設置条例の一部を改正する条例の制定について

令和8年第1回教育委員会(R8.1.30)

議事

- (1) 令和7年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について
- (2) 義務教育学校校名の再検討について

令和8年第2回教育委員会(R8.2.20)

議事

- (1) 飯豊町民スポーツセンター及び中津川体育館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- (2) 飯豊町民スポーツセンター及び中津川体育館の設置及び管理に関する条例の施行規則の一部を改正する規則
- (3) 飯豊町教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則の制定について
- (4) 飯豊町立学校における学校運営協議会の設置に関する規則の一部を改正する規則の制定について
- (5) 飯豊町幼保連携型認定こども園費用徴収規則の一部を

改正する規則の制定について

- (6) 令和 8 年度飯豊町学校教育指針について
- (7) 令和 8 年度飯豊町社会教育指針について

令和 8 年第 3 回教育委員会 (R8. 3. 5)

議事

- (1) 令和 8 年度教職員人事異動の内申について

令和 8 年第 4 回教育委員会 (R8. 3. 23)

議事

- (1) 令和 8 年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について
- (2) 飯豊町立学校歯科医の委嘱について
- (3) 飯豊町社会教育推進員の委嘱について
- (4) 飯豊町青少年育成推進員の委嘱について
- (5) 飯豊町スポーツ推進委員の委嘱について
- (6) 飯豊町立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画の策定について
- (7) 令和 8 年度飯豊町職員人事異動の内申について

2 教育委員会協議会の開催

当面する検討課題等について意見交換を行った。

令和 7 年第 2 回教育委員会協議会 (R7. 12. 18)

- (1) 今後の義務教育学校の方向性について

3 教育懇談会、研修会への参加等

教育懇談会に参加したほか、西置賜地区や県の関係機関が開催する研修会に参加し、教育における諸課題について研修した。

[教育懇談会]

- (1) 令和 7 年度飯豊町教育懇談会 (R7. 11. 28)

[教育委員研修]

- (1) 西置賜地区教育委員会協議会研修会 (R7. 7. 28)

講演：「第 7 次山形県教育振興計画」について

講師：置賜教育事務所長 目黒 孝博 氏

- (2) 西置賜地区教育委員会協議会研修会 (R8. 2. 27)

講演：「学ぶということ」

講師：山形大学大学院教育実践研究科 澁江 学美 氏

[学校等訪問]

各幼児施設及び小中学校、調理場訪問 (R7. 10. 22、11. 4)

2 教育委員会の事務の点検・評価

（重点項目）学校教育の充実

◇目標 「SDGs 未来都市」に選定された飯豊町として、地球環境の危機的状況を理解し、対処するための知識を育みつつ、グローバル化が進む社会に適応できるよう、知・徳・体のバランスのとれた、新しい時代に活躍できる子どもの育成を目指します。

また、地域との絆を大切に、連綿とつないできた文化や先人の思いを自分事として学び、主体的に生きることができる子どもを育てます。

さらには、関係機関と連携しながら、特別な教育的支援を必要とする子どもたちへの対応や、家庭環境、経済的状況等による教育格差解消に向けて取り組みます。

少子化が進行する中、子どもたちのより良い教育環境の確保に向け、町内幼児施設と小学校の再編を進めます。

〈達成状況〉事業 13 項目のうち、達成（◎）：12 概ね達成（○）：0 未達成（×）：1 評価不能※（－）：0

※調査の中止等により、数値の把握が不可能だったもの

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
1. SDGs 教育の推進 ◇「誰一人取り残さない教育」と「質の高い教育」の実践及び学びのセーフティネットの構築	(1) 学力向上プランに基づく、誰一人取り残さない質の高い教育の実践	× 未達成 ◇令和 7 年度標準学力調査（C R T）において、教科総合得点率が全国平均並み（1 0 0）を目標にしたが、小中学校ともに達成できなかった。 ◇「思考・判断・表現」の観点に加え、「知識・技能」の観点でも全国平均を下回る結果となった。	標準学力調査（C R T） 【目標】 小学校総合得点率 全国比 1 0 0 中学校総合得点率 全国比 1 0 0 【実績】 小学校 ：全国比 9 3 . 6 中学校 ：全国比 9 9 . 5	◇校長会、教頭会、町教育研究会、授業研究会等において、①ドリル学習を含めた知識・技能の指導の重点化、②授業時の見取りと支援の強化、③一人ひとりの良さや個性を活かす指導の充実について、指導・啓発する。

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
	(2) 中学生を対象とした町営学習教室「いいで希望塾」を継続開講	◎達成 ◇令和7年度は、年間20回開催できた。	「いいで希望塾」 年間開催回数 【目標値】20回 【実績】 3年生：20回 1・2年生：20回 参加生徒数：32名	◇参加者の減少、欠席者の増加等の課題に対応し、目的別の短期講習を複数回開催し、生徒のニーズに合わせた形態に改善する。
	(3) 小・中学生を対象に、数学・算数検定及び漢字検定を実施	◎達成 ◇延べ42名が受験。 ◇35名が合格。	【実績】 ◇数学・算数検定 1回目受験16名 2回目受験 8名 ◇漢字検定 受験18名	◇学校とタイアップし、受験意欲の喚起・啓発を進める。
	(4) 中学生を対象に、英語・数学・漢字検定で3級以上受験時、一律1,000円補助	◎達成 ◇延べ42名補助。	【実績】 ・英語検定19名 ・漢字検定15名 ・数学検定 8名	◇①対象者を小学生へ拡大、②補助金額の増額等を検討し、早期からの学習意欲喚起をねらう。
	(5) 「算数・数学難問クイズ」を毎月、各小・中学校に設置	◎達成 ◇延べ126名が挑戦。	【実績】 (延べ) ・小学生114名 ・中学生 12名	◇子どもたちの学習意欲向上に向けて継続実施する。

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
	(6) 学校教育指導専門員の配置(教職員の授業指導)	<u>◎達成</u> ◇若手教員を中心に授業指導を行った。また、複式学級の授業支援も行った。きめ細かな指導等により教員の指導力向上、学校経営改善を図ることができた。	学校教育指導専門員配置人数 【目標】 1名 【実績】 1名 授業参観 134回 面接指導 40回 資料発行 19回	◇引き続き学校教育指導専門員を配置し、小・中学校教員のスキルアップを進める。
	(7) スクールカウンセラーによる臨床心理指導、定期相談や早期支援連携事業の実施	<u>◎達成</u> ◇課題を抱える児童生徒の自立支援や相談活動が充実した。また自立支援員や学校支援員を配置し、日常授業や教育相談の充実を図ることができた。	スクールカウンセラー配置人数 【目標】 1名 【実績】 1名 【相談件数(延べ)】 ・小学校：89件 ・中学校：36件	◇引き続きスクールカウンセラー、自立支援員、学校支援員を配置し、教育相談体制を一層充実させる。
	(8)「飯豊町いじめ防止基本方針」に基づくいじめの未然防止と早期解消	<u>◎達成</u> ◇小・中学校ともに、いじめ防止方針をもとに対応し、認知案件をすべて解消した。Q-Uテスト等による実態把握も効果的に活用した。	【目標】 未解消数0件 【実績】 ◇小学校 123件 うち未解消数0件 ◇中学校 35件 うち未解消数0件	◇いじめ問題に学校、教育委員会、関係機関が一丸となって取り組むとともに、明るく元気で信頼される学校づくりを一層進める。

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
2. ふるさとを愛する心を育む教育の展開 ◇地域の特色や資源を活かした教育と地域活動への参画による郷土愛の醸成	(9) 実態把握と指導啓発による体罰の根絶	<u>◎達成</u> ◇学校における体罰件数は0件であった。	◇体罰の報告件数 【目標】0件 【実績】0件	◇教員や部活動指導者等が体罰に関する正しい認識を持ち、児童生徒理解と適切な信頼関係に基づく指導が行われるよう指導・支援を強化する。
	(1) 地域の自然や伝統文化、行事等を体験するふらさと学習の推進	<u>◎達成</u> ◇町めぐりや学校田（林）活動等の総合的な学習で、地域に誇りと愛着を持つ学習が行われた。	【実績】 ・社会科町めぐり ・学校田（林）学習	◇飯豊町が大好きになる学習を継続し、郷土を愛し、郷土に誇りを持つ子どもを育成する。
	(2) 自分の生き方を考え、方向付けるキャリア教育の推進	<u>◎達成</u> ◇地元での職場体験やボランティアで働く意義や尊さを学ぶことができた。	【実績】 ・職場体験活動 ・ボランティア活動	◇人の温かさを感じ、受け継ぐ活動を継続する。
	(3) 音楽からのまちづくりに資する教育活動の実施	<u>◎達成</u> ◇めざみの里音楽祭で、自ら音に携わり、ともに創る楽しさを実感できた。	【実績】 ・めざみの里音楽祭 ・各校学習発表会	◇広く芸術活動を奨励し、感性豊かな子どもを育成する。

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
3. 教育環境の充実 ◇情報活用能力の育成、外国語教育の重点化によるグローバルな人材の育成	(1) 学習指導の充実や異文化理解に資する外国語指導助手、英語教育、ICT教育推進に資する英語・ICTコーディネーターの配置	<u>◎達成</u> ◇外国語指導助手と英語・ICTコーディネーターの配置で、国際感覚を養成し、GIGA端末を活用する授業等を実施できた。	【実績】 ◇外国語指導助手 2名を配置 ◇英語・ICTコーディネーター 1名を配置	◇外国語指導助手及び英語・ICTコーディネーターを継続配置する。 ◇ICT機器を計画的に更新し、ICT環境を充実させる。
◇学校の在り方（再編）について検討	(2) 義務教育学校の開校延期に伴う、極小規模学校及び複式学級解消のための、第二小・手ノ子小・添川小の3校統合準備	<u>◎達成</u> ◇統合準備委員会を設置し、3校の円滑な統合に向けて、必要な事項を協議、調査・検討することができた。決定（確認）事項は、「統合準備委員会だより」で、保護者や地域住民へ周知した。	【実績】 ◇開校準備委員会 4月、5月、7月 9月、12月、2月 計6回開催 ○決定・確認事項 ・2校閉校式概略 ・統合校校歌、校章 - 通学、SB計画、 - 学校目標、経営方針、年間教育計画 - 運動着、学用品、 - P T A・後援会、 - 学校運営協議会、 - 学年積立、学校集金システム、備品	◇第二小の円滑な学校運営を支援する。 ◇第一小と第二小の学校間交流を促進する。 ◇令和14年度の義務教育学校開校に向けて、準備を継続する。

(重点項目) 子育て環境の整備

◇目標 「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、次世代を担う子どもたちを安心して育てられる環境づくりを総合的に進め、子どもが健やかに成長できるまちづくりを目指します。

〈達成状況〉事業8項目のうち、達成(◎):8 概ね達成(○):0 未達成(×):0 評価不能※(ー):0

※調査の中止等により、数値の把握が不可能だったもの

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
1. 子育て支援サービスなどの充実	(1)産休明け保育の実施	◎達成 出産後も仕事を続けたいという女性のために、特にニーズの高い産休明け保育(生後3ヶ月～6ヶ月)を実施した。	産休明け保育利用者数 【R7実績】0人 こども園待機児童数 【R7目標】0人 【R7実績】0人	◇子育て相談窓口の機能強化、多様な保育ニーズへの対応、乳幼児保育の充実、子ども家庭健康室と定期的な情報共有などを行い、児童虐待等の未然防止や迅速対応への体制を整備し、総合的な子育て支援体制の充実に努めていく。
	(2)延長保育の実施	◎達成 全幼児施設において午前7時30分から午後6時45分までの早朝・延長保育を実施した。	延長保育実施施設数 【R7目標】3施設 【R7実績】3施設 延長保育利用児童数 52人/147人	◇幼児教育と家庭教育の連携強化を図り、安定した親子関係の構築に努めていく。
	(3)放課後学童クラブの実施	◎達成 すべての小学校区の児童を対象とし、町内2箇所の放	学童クラブ利用数 【白樺学童】40人 【中部学童】40人	◇1～2学年を中心に利用のニーズが高いため、支援員の

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
2. 地域資源を活用した子育て環境づくり	(1) 幼小中の連携	課後学童クラブを設置し、保護者の意向調査等から小学6年生までを対象とし実施した。 ◎達成 小・中学校とこども園との交流・連携・情報交換や切れ目ない支援を図った。 【小学校間連携】 ・めざみ学習 ・第二小学校統合に向けた手ノ子・添川・第二小の3校活動 【小・中学校間連携】 ・中学校での小6集合学習 【園・小学校間連携】 ・1日入学 【園・中学校間連携】 ・中学校教諭によるこども園指導	学童クラブ待機児童数 【R7目標】 0人 【R7実績】 0人 各園の園児と各学校の児童による交流の機会の確保	確保を図るとともに、放課後の子どもの居場所の設置について検討を進める。 ◇各園の園児と各学校の児童による交流を継続する。 ◇幼小の連携から、幼少中一貫教育へ向けて、グランドデザインやスタートプログラムの意義を十分に理解し、連携と情報交換、交流が図られるように創意工夫し一層進めていく。
	(2) 食育の推進	◎達成 こども園において、野菜栽培	食育活動・交流活動 実施施設	◇引き続き、子どもたちが農村の豊かさ

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
3. 子育て家庭の負担軽減	(1) 保育施設等の利用者負担の軽減	体験や、地域の食材を活用した手作りおやつを提供、栄養士による園児・保護者への「食育」の啓発を行った。 小学校においては地域の方の協力を得て、畑や田んぼにて野菜や米を自ら育てる学習を行った。給食においては、町内食材を使用した給食「めざみ産デー」の実施や生産者による講話など地産地消の学習を推進した。 ◎達成 【保育料の軽減】 ・3歳～5歳及び3歳未満児の住民税非課税世帯は無料。（令和元年10月より） ・3歳未満児の市町村所得層3階層・4階層世帯は無料。（令和4年4月より） ・同一世帯の18歳までの子から数えて第3子以降の場合無料。 ・園への複数人の同時入所の場合、2人目は保育料1/3の額。	【R7 目標】 全てのこども園及び小・中学校 【R7 実績】 全てのこども園及び小・中学校 町独自保育料負担軽減の実施。	を実感できるような食育の推進に取り組む、ふるさとに対する愛情を醸成していく。 ◇3歳未満児に関しては、引き続き保育料等の軽減策を継続していく。また、第3子以降の3歳～5歳児の子どもの給食費と延長保育・預かり保育のおやつ代の無償化を継続していく。
	(2) 共同調理場からの自園給食以外への給食提供の実施	◎達成 わくわくこども園幼児部	自園以外の給食提供 【R7 目標】 1園 【R7 実施】 1園	◇今後も調理場の給食の配食を実施するとともに、自園給

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
	(3) 児童施設の園児送迎バスの運行	に、学校給食共同調理場からのおかず給食の配食を実施し、子どもの成長過程にあった給食提供に取り組んでいる。 ◎達成 添乗員を配置した上でスクールバスやワゴン車（わくわくカー）にて園児の送迎を行った。 また、わくわく乳児部と幼児部に兄弟がいる場合については、保護者の送り迎えの負担軽減のため、乳児部1ヶ所に送迎してもらい、わくわくカーにて幼児部兄弟の送迎を行った。安全対策については、車両に置き去り防止装置を設置し、安全対策の向上に努めた。	児童施設の園児送迎バスの運行 【R7 目標】 2園 【R7 実施】 2園 【園送迎バス利用児童】 7名	食にあっても調理場の献立を基に栄養バランスのとれた給食の提供を行っていく。 ◇今後も町主体による安全なバス運行を継続し、保護者の利便性の向上に努める。

(重点項目) 生涯学習活動の推進

◇目標 心豊かで品位のある人間性、創造力に富むたくましい人間、ふるさとの良さを知り飯豊町で生きる誇りを持てる「いい人」を育てるため、学習機会の充実や学習情報の提供を推進し、多様な生涯学習の展開をはかります。

〈達成状況〉事業6項目のうち、達成(◎):3 概ね達成(○):3 未達成(×):0 評価不能※(ー):0

※調査の中止等により、数値の把握が不可能だったもの

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
1. 生涯学習推進体制の整備充実	(1)生涯学習推進体制の充実	◎達成 各地区まちづくりセンターと連携し、地域を学び、地域の資源や特色を生かした創意工夫の生涯学習活動と地域文化の伝承に取り組んだ。	各地区まちづくりセンターとの打合せ回数 【目標】12回 【実績】30回	◇各地区まちづくりセンターの運営体制の定着を図るとともに、地域課題の解決や住民主体の地域づくり活動を支援し、さらなる生涯学習推進体制の充実を図る。
2. 地域とともにすすめるまちづくりの推進	(1)家庭教育及び地域学校協働本部事業の充実	○概ね達成 家庭教育の推進として、各小中学校の就学時健診や幼児施設でのPTA研修会等の機会を活用し、各種講演や親子で学ぶ運動教室などの開催を通じて、家庭教育のさらなる推進	小中学校・幼児施設における研修会の実施 【目標】 全小中学校・幼児施設	◇家庭教育の推進 できるだけ多くの保護者が参加できるよう、開催時間や方法について配慮する。保護者の意見を取り入れながら

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
3. 生涯学習の推進と 学習情報の提供	(1) 学校・家庭・地域連携協働による生涯学習の推進 (2) 図書室の利用拡大	を図った。 <u>◎達成</u> 学校・家庭・地域連携協働活動 町内の各小中学校に地域学校協働活動推進員を各1名配置し学校と地域のパイプ役として、地域ボランティア活動や職場体験学習、地域学習、校外学習などの連絡・調整を行い、地域住民の参画を得ながら仕組みづくりを行った。 <u>○概ね達成</u> 読書に親しむ機会や習慣を幼少期から構築していくため、絵本の読み聞かせ広場や各種の体験教室などを開催するとともに、大人を対象とした読み聞かせ事業を実施し、幅広い世代への読書活動の推	【実績】 小学校4 幼児施設1施設 で実施 小学校4名/4校 中学校1名/1校 図書室の利用拡大 ・貸出延べ冊数 9,132冊	検討していく。 ◇学校・家庭・地域連携協働活動 地域と連携した学習環境の整備・充実に努めるとともに、義務教育学校を見据えた協議等を推進していく。 ◇図書室の利用拡大 図書室の利用者は固定化しており、中学生～20代の利用が落ち込む傾向がある。町民の身近な学びの拠点である図書室の利用の裾

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
	(3) 学習情報の提供	進を図った。また、読書推進企画として、「本の福袋」「読書の木」「大人の講座」などを実施した。 <u>○概ね達成</u> ・いいで天文台事業については、業務委託により、天文台設備による星空案内、地域・学校に出向いた天文教室、中部地区まちづくりセンターにて常設展示、東部地区まちづくりセンターにて天文台紹介展示を行い、天文教育の普及に努めた。 ・地域の要望や要請に応じた魅力ある学習機会の提供と、町民に対する学習情報の発信に努めた。	天文台利用者数 （出前講座等含む） 【目標】 400 人 【実績】 337 人	野を拡大したい。 ◇いいで天文台事業については令和7年度まで運営を委託していた団体への委託継続が困難となったことから、現在ボランティアスタッフによる運営方式への移行を進めているところである。持続可能な運営体制の確立に向けた方策を模索することが今後の課題である。 ◇生涯学習に対する住民ニーズの把握に努めるとともに、各地区まちづくりセンター、飯豊少年自然の家、源流の森や名所な

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
	(5) 青少年の健全育成及び の子ども会育成会連絡協議 会推進	<u>◎達成</u> ・町青少年育成推進員と連携し、研修会の開催、有害図書類調査、いじめ・非行防止標語募集・審査を行い、青少年をとりまく環境の向上に努めた。いじめ防止標語飯豊町優秀作品についてポスター掲示を行った。 ・各地区子ども会育成会連絡協議会を通じ、各単位子ども会育成会に対して子ども会活動活性化推進補助金を交付し、活動費の支援を図った。	目標数値化不可	ど町内資源の活用及び情報発信を推進する。 ◇青少年の健全育成の推進にあつては、町青少年育成町民会議会員と連携し、地域を挙げて青少年の心豊かな成長を守る取り組みを推進する。 今後も、各地区子ども会育成会に対し、補助事業を活用した活動の活性化について継続的に支援する。できる限り地域資源を活用し、学校・まちづくりセンターとも連携できる支援・育成の在り方について検討する。

（重点項目）文化財保護と利活用の推進

◇目標 ふるさとの自然や地域文化を愛する心を育て、創造的にぎわいのある地域づくりをめざすため、文化財の保護と活用をはかります。

〈達成状況〉事業2項目のうち、達成（◎）：2 概ね達成（○）：0 未達成（×）：0 評価不能※（－）：0

※調査の中止等により、数値の把握が不可能だったもの

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
文化財保護と利活用の推進	(1) 貴重な文化財や地域史研究資料の保全と活用 (2) 地域の歴史や文化を後世に伝えるための基盤づくりを推進した。	<u>◎達成</u> 文化財の保護及び利活用の促進を図った 天養寺観音堂の再建工事が完了し、文化財の保存・継承が図られた <u>◎達成</u> 飯豊町の歴史文化の普及啓蒙活動	【実績】 ・萩生城址、萩生石箱遺跡公園の維持管理 ・開発に伴う埋蔵文化財問い合わせ対応 ・文化財の保存・継承 ・飯豊学講座の開催（2回） ・菅笠後継者育成講座の開催（5回）	◇飯豊町歴史文化基本構想のスケジュールに沿って、飯豊遺産の保護と利活用を促進していく。

（重点項目）生涯スポーツ活動の推進

◇目標 スポーツをとおして、明るく豊かで活力に満ちた地域づくりを進めるため、「町民一人１スポーツ」を目標に生涯スポーツの推進をはかります。

〈達成状況〉事業４項目のうち、達成（◎）：３ 概ね達成（○）：１ 未達成（×）：０ 評価不能※（－）：０

※調査の中止等により、数値の把握が不可能だったもの

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
心身の健康と体力増進のための町民一人１スポーツの推進	(1)町民一人１スポーツ推進のための事業展開 ・生涯スポーツの推進に向け、町民一人１スポーツを目標とし、スポーツ協会、いいでスポーツクラブキララ、スポーツ推進委員会などと連携を図った。 ダムマラソン大会をはじめ各種事業を実施することができた。	<u>○達成</u> ・関係団体との協働・連携促進として、町スポーツ協会（地区スポ協・スポーツ団体）及びいいでスポーツクラブキララの各種事業の支援を図った。 ・町総合体育大会の開催 町スポーツ協会及び各地区スポーツ協会と連携し11種目を町総合体育大会として開催し、スポーツを通じた交流づくり・健康づくりに努めた。		◇いいでスポーツクラブキララについて、町民の参加促進やクラブ事業の充実を図り、一般会員数の増加に努める。 また、スポーツ推進委員・まちづくりセンターとの連携促進を図り、生涯スポーツの普及を進める。 ◇町総合体育大会については、スポーツを通じた交流づくりとして今後も継続し、「町民一人１スポー

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
	(2) スポーツ施設の整備 ・町民スポーツセンター、手ノ子スキー場、自然観察学習園グランドゴルフ場などのスポーツ施設の管理・運営にあたり、施設利用の促進を図った。	<u>○概ね達成</u> 施設利用環境の各種整備 町民スポーツセンター及び手ノ子スキー場の管理運営を業務委託し、受託者等と連携して施設環境の整備に努めた。 手ノ子スキー場駐車場については舗装補修工事を、町民プールについてはプールサイドの床タイル撤去工事をそれぞれ実施し、施設の安全確保と適正な維持管理に努めた。	町民スポーツセンター利用者数 【目標】 13,000 人 【実績】 14,892 人 町民プール利用者数 【目標】 3,500 人 【実績】 3,120 人 手ノ子スキー場利用者数 【目標】 28,000 人 【実績】 23,685 人 いいでスポーツクラブキララ会員数 【目標】 250 人 【実績】 231 人	ツ」を見据えた大会のあり方について検討を行う。 ◇町民スポーツセンター、町民野球場、町民プール、手ノ子スキー場、などのスポーツ施設の利便性向上と安全確保を図り、利用の拡大を図るために関係団体とも連携し、継続して各施設の設備整備に取り組む。

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
	(3) スポーツ団体の育成と競技力の向上	<u>◎達成</u> 各競技指導者の人材確保と指導力向上を図り、小学生から中学生までの競技力の向上を図った。 また、上位大会の参加費用への補助を行った。	スポーツ少年団指導者の上部研修会参加に係る支援を行った。 全国規模の大会参加者に対し、大会登録料・旅費など参加経費の補助による支援を行った。(7件)	◇上位大会への参加費用補助による、競技力の向上を応援する支援事業を継続する。
	(4) 子どもたちの体力等の向上やスポーツに親しむための事業展開	<u>◎達成</u> スポーツ教室を開催し、児童生徒の運動能力の向上を図った 部活動の地域展開に向け、受け皿となる地域クラブの体制整備を進めた	スキー教室等の開催 部活動地域展開に係る、指導者の認定や運営要綱の策定による指導体制の充実	◇小中学生の運動能力向上を図るため、部活動の地域展開の動向も踏まえながら、今後も各種教室を継続して開催する。

◇目標 誰もが、どこでも、芸術文化や音楽に親しみ、感動の機会に触れることのできる環境の整備を進めるとともに、芸術文化団体の創造的な活動に対して、支援します。

※調査の中止等により、数値の把握が不可能だったもの

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
1. 芸術文化活動の奨励事業	(1) 各種芸術文化団体の活動について、従来開催していた芸能発表会を一新し、飯豊町芸術文化協会加盟団体及び町内外の一般参加による多彩な内容の公演と作品展を内容とする『芸術文化祭』として隔年予定で開催することとした。 (2) 町民総合センターを活用し、質の高い芸術（演劇）に親しむ機会を創出することによって、創造性に富み感情豊かな人間性を培うことを目的	◎達成 芸術文化祭開催休止年度 ◎達成 7月2日（水） 町内の全小中学生を対象に芸術鑑賞教室を開催し演劇の鑑賞を行った。芸術分野についての興味関心	◆町芸術文化協会 会員数 【目標値】 200人 【実績】 206人 目標数値化不可	◇コロナ禍以降芸術文化協会会員数や活動の減少が顕著であったが、今後は芸術文化祭の開催に向けて各団体と調整し、従来以上に芸術文化の普及と発展を支援していく。 ◇子どもたちが芸術に触れる機会を今後とも継続して創造していく。

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
2. 音楽からのまちづくりの推進	に開催した。 (1)大規模改修によって向上した利便性を利用者が十分に享受できるよう、積極的な情報発信を行うとともに、町民総合センターの利活用方法について様々な提案をしていきながら事業を進めてきた。	を引き出すきっかけすることができた。 <u>◎達成</u> ・6月21日（土） フェット・ド・ラ・ミュージック開催 ・9月6日（土） いいで“めざみの里”まつり2025 ・11月8日（土） 第30回めざみの里音楽祭	目標数値化不可	◇町民誰しものが音楽を気軽に親しめる場を継続して提供していくことで、音楽からのまちづくりを推進していく。